

マダニによる感染症にご注意ください

～SFTS や日本紅斑熱の感染者が増えています～

春から秋にかけて農作業、キャンプ、ハイキングなど、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。野山に生息するマダニに咬まれることで重症熱性血小板減少症候群（SFTS）や日本紅斑熱に感染することがあります。

マダニに咬まれないためには

- ・長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用しましょう。
- ・帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくしましょう。
- ・服は明るい色のもの（マダニを目視で確認しやすい）がおすすめです。

マダニに咬まれたときは

- ・無理に引き抜こうとせず、医療機関を受診しましょう。
- ・数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状がある場合は医療機関を受診しましょう。

届出数（全国・佐賀県） ※1 R7年の全国は8月10日までの累計速報値、佐賀県は8月17日時点
重症熱性血小板減少症候群（SFTS）（単位：件）

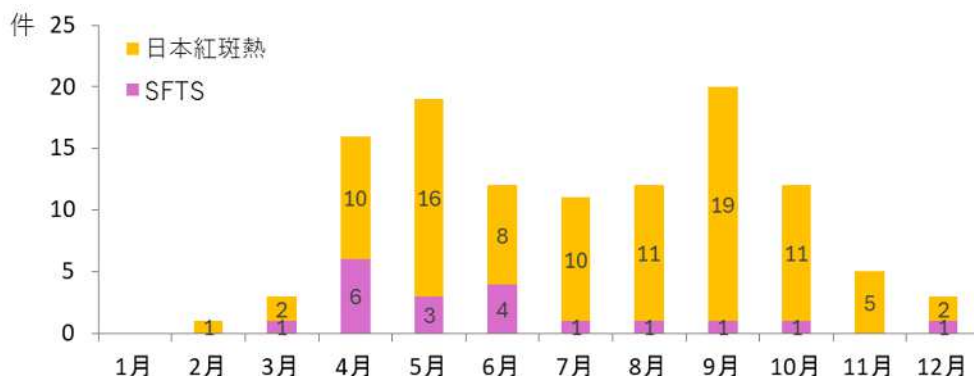
	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年※1
全国	101	78	110	118	134	122	135
佐賀県	0	3	3	3	2	4	4

全国の届出数は8月10日時点で、過去最も多かったR5年の1年間の累計数を上回っています。

日本紅斑熱（単位：件）

	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年※1
全国	318	421	487	457	500	523	331
佐賀県	8	9	14	21	11	19	13

R1年～R7年の佐賀県の月別患者累計数 ※2 R7年8月17日までを集計



参考

- ・ [マダニ対策、今できること | 国立健康危機管理研究機構（JIHS）](#)

